

## 工事中②

2月5日（月）、曇り空からぼたん雪が落ち始め、徐々に積もっていきました。子どもたちはたびたび窓の外をながめ、「雪だ」「いっぱい降ってる」「積もれ積もれ」と喜んでいました。

午後、図書館で新1年生入学説明会を行っている間に、雪の勢いがどんどん増していきました。会が終了して保護者の方々が帰るころには、かなり雪が積もって、周りの屋根や木々が白くなっていました。暗くなってからは雪の勢いと強い風で、まるで吹雪のようになっていました。

翌朝、何人もの職員が早朝から出勤して、学校敷地内や周辺道路の雪かきを行いました。ご近所の方々も、ご自宅前の道路の雪をかいていらして、安全に歩ける状態にしてくださいました。子どもたちが登校するころには、通学にほぼ支障がないくらいになっていました。

登校班で並んで歩いてきた子どもたちは、道の端に積まれた雪に歓声を上げ、足を突っ込んだり手に取ったりしていました。気持ちはわかるのですが、投げたりすると危ないので「あー、持っていないでね」と何度も声をかけました。すいぶん冷たいだろうに、よく素手でさわれるものだなあと感心しました。工事中の校庭も、白く雪化粧がほどこされていました。



雪が解けて、校庭の工事はさらに進みました。8日（木）には、遊具の設置が始まりました。鉄棒やジャングルジム、おそろくのぼり棒の支柱らしきものが次々に校庭に立ち上がっていきます。たぶんさび止めのいろなのでしょうか、鉄骨の茶色が目立っています。鉄棒の持ち手のところが、今まではさびていましたが、新しいものらしくピカピカです。

